学びのフィールドマップ

このマップは、近年、江津工業高校の
＼ 生徒が地域で活動した軌跡です ／

島根県立
江津工業高等学校

〒695-0011
島根県江津市江津町 1477 番地
tel.0855-52-2120

＼学校HPはコチラ／

[発行] 2022 年 10 月

❶ 有福どりっぷ
古民家を改装してカフェにする工事が進行中です。ここでは、地域企業と協働して電気工事を行いました。また、日本大学理工学部との協働研究としてデジタルファブリケーションを活用した壁をつくる予定です。江津工業高校では大学との研究も可能なのです。

❷ わたぼうし（結の家）
「わたぼうし」の園内にあった古い小屋を解体して、新しい小屋を建てました。穴を掘って基礎をつくることからはじめて多くの時間がかかりました。木でできた小屋は温かみがあって子供たちも喜んで使ってくれています。

❸ わたぼうし（3層デッキテラス）
「わたぼうし」から「森の中に遊べる空間をつくってほしい」との依頼からつくりました。製材された木材を森の中に運ぶだけでも大変でした。飛んだり跳ねたりしてもびくともしない、森の中の3層デッキテラスです。

❹ 都野津のカフェ
令和4年度からポリテクカレッジ島根がカフェにリノベーションする予定です。江津工業高校は、その中で使用するイスや机をデジタルファブリケーション技術を使ってつくろうとしています。完成を楽しみにしていてください。

❺ 東 屋
地域の方々や江津本町を見学に来た人たちの休憩所や憩いの場として使ってもらえるよう、6人が座れる休憩所を設置しました。「江津本町に設置するなら絶対に赤瓦を使おう！」と決めてつくりました。

❻ 高原邸
重要文化財級に古い建物の縁側が長年の風雨にさらされ、痛んでいます。そこで縁側の改修工事を行いました。また、障子の張替えなども行い、建物の維持管理を行っています。今後はどのように使用するか検討していきたい建物です。

❼ 旧郵便局
1885 年頃（明治中期）に建築、2008 年に改修され、現在は国の登録有形文化財となっている旧江津郵便局は、イベントなどでギャラリーとして利用されることが多い建物です。そこで、展示がより一層魅力的になるよう、ピクチャーレールを取りつけました。また、建物の周辺もきれいに整備しました。

❽ タウンスペースときわ
まちにある本物の建築物の工事ができ、まちの活性化につながる教材としてH29年から工事をしている「旧ときわ印刷所」です。外観もリフレッシュし7月下旬から子どもたちが集う場所として活用されています。

❾ 山辺荘
有休建築物を高校生が一部を修繕し、旅館業法の簡易宿所として使えるようにしました。今では旅行情報サイトに旅行宿泊施設として登録され、活用されています。いつか、泊まってみてください。

❿ 日本語学校
江津本町にある「はなまる日本語学校」の保健室の壁が劣化していることを知り、修繕工事を行いました。日本語学校の方に手順を教えながら、2日間に渡り協働作業を行いました。施工前後の違いに驚きながらも喜んでもらうことができました。

⓫ 江津警察署
江津警察署と協働して高齢者を交通事故や犯罪被害から守る取り組みの象徴となる看板を制作しています。看板には、交通安全や防犯について啓発する様々な仕掛けが隠されています。完成後は江津市内のコミュニティ交流センターを巡回する予定です。

⓬ 江津駅・都野津駅
江津駅の開業100周年を記念して江津駅に黒板アート用の黒板をつくりました。また、都野津駅には地域MAP展示用の木枠やモザイクタイルアートを展示し、待合室の塗装も行いました。

⓭ パレットごうつ
江津保育所連合保護者会と協働により、ペットボトルツリーを制作し、クリスマスシーズンにパレットごうつに設置しています。ツリーの高さは4ｍで、江津市内の幼保子ども園の子どもたちが思い思いに絵を描いたペットボトルがLED照明により輝きます。

⓮ 第一稀元素化学工業株式会社
第一稀元素化学工業（株）の研究助成制度を利用させていただき、同社の江津事業所に設置するためのマイクロ水力発電機の研究開発を同社と協働して行っています。同社からは、高校生ならではのユニークで独創的な発想による開発を期待されています。

⓯ 社会福祉法人 花の村
学んだ木材加工技術を使用し、高齢者に適した椅子の製作を社会福祉法人「花の村」と協働研究を行っています。「花の村」を利用しておられる高齢者の方や職員の方からアドバイスをいただきながら、最高の椅子の製作を目指しています。

⓰ 旧川戸駅
江津駅から三次駅（広島県）までを結んでいた旧JR三江線の川戸駅を活用してイルミネーションを実施しました。今後は駅ホーム前の廃線利用として、製作した電車を走行させていく予定です。